

## 新型コロナ新規患者発生数の減少が進行、将来に明るい期待も

## 最近の状況

NEWS LETTER第25号をお届けします。新型コロナの新規患者発生数は連日減少を続けており、一日に発表される全国の感染者の数が200人を下回る日もある状態にまで達しています。このまま収まってくれたらとつい期待してしまいます。なかなか、そうは行かないと思われまますので、引き続き感染防止対策の継続に心がけて行きたいと思えます。

## 10月準定例会を開催しました

2021年10月21日（木）19時半から21時5分まで10月準定例会をzoom形式で開催しました。今回は、IPCCにおいて重要な役割を果たされた茨城大学前学長の三村信男先生から、「気候変動の現状・将来予測とカーボンニュートラル」についての講演をいただきました。三村先生は、2020年3月まで茨城大学学長を勤められ、現在は同大学名誉教授、地球・地域環境共創機構特命教授に就任されています。日本を代表する気候変動問題の研究者であり、1989年からIPCCの作業に関与し、第5次評価報告書からは総括主執筆者として直接執筆されました。講演の内容は、温暖化・気候変動はどこまで分かっているのか、気候変動の影響、パリ協定以降の世界の方向と日本の課題に焦点をあてたものでした。CO<sub>2</sub>等温室効果ガスの排出による地球温暖化は水資源の賦存状態にも関係し、全ての人々に関わる重大な問題であることから、本会でも今後中心的なテーマの一つとして取り扱っていく予定です。

## 水道公論10月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは、「英国で行われたG7について」（工藤克典氏）、コラム「海外水ビジネスの眼」では「知られざる水ETF－世界の水に関連した企業を運用対象とする上場投資信託－」を掲載します。



秋明菊

## 定例会・準定例会の計画について

- ZOOM幹事会が11月12日（金）20時から。前回に引き続き「次のステージの検討」についてのフリートーキングを予定しています。幹事以外の方のご参加も歓迎します。
- 今回も、zoomによる準定例会とし、11月18日（木）19時半から21時に開催。「エネルギー分野でのカーボンニュートラル・DX等の動き」について平山周一さん（元JWF）にお話をいただきます。多数の方がたのご参加を期待しています。
- 次期ステージの計画検討に関連して、引き続き12月にかけて、テーマ別のzoomミーティングを随時開催していきます。関係の皆様には、個別にご案内をさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

## 水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。